

加藤久子 著

スケーリングの基礎力アップ! DH トレーニングドリル

東京都千代田区・スウェーデンデンタルセンター
弘岡秀明 (歯科医師)



A4判変/88頁
定価 3,150円
(本体 3,000円 + 税 5%)
医歯業出版
(2013年4月発行)

歯周病は、歯に付着した細菌性プラーク(バイオフィルム)によって引き起こされる、ある種の感染症です。その治療目標は縁下プラークを除去すると同時に、縁上のプラークをコントロールし、その進行を止めることにあります。縁上のプラークコントロールはモチベーションされた患者さん自身に、縁下のプラークコントロールは術者に委ねられます。

縁下プラークの存在は、臨床的にはプローブによるポケット底からの出血(Bleeding on Probing)の有無で判断します。また、縁下プラークを除去する手段としては、根面から軟らかい沈着物除去する“デブライドメント”によって炎症をコントロールすることが可能とされますが、実際は縁下歯石やグルーブの問題があるため、“スケーリング・ルートプレーニング(SRP)”で歯石を除去し、かつ根面を滑沢に仕上げる必要があります。

歯周治療においては、歯科衛生士によるX線写真を見ながらの正確なプロービング、適切なSRPは必須です。これらは非明視下の処置が多く、テクニックセンシティブなため、とても難しい反面、術者の“腕の見せど

ころ”ともいえます。

本書は、プロービングやSRPの技術向上のためのポイントがステップごとの目的とともにわかりやすくまとめられており、内容が一目でわかるよう写真や図が多く用いられています。歯の解剖学的形態、X線写真の見方、プロービング方法、デンタルミラーの使い方、手用スケーラーおよび超音波スケーラーの使用法まで、明日の臨床に直結する内容が、基本から応用まで幅広くカバーされています。また、ドリル形式を採用することで、自身の理解度をチェックしながら読み進めることができ、新卒の歯科衛生士の学習だけでなく、ベテランの歯科衛生士でも自身で知識を再確認することが可能となっています。

本書のもっとも特徴的な点として、トレーニングに用いる道具も、診療室にある身近な物を使用して行うことができるよう工夫されており、達成度を自分自身でチェックできるようになっているため、一人でも反復練習することができる好書です。

加藤久子先生は私の古くからの友人であるとともに、米国で正式なトレーニングを受けた数少ない日本人歯科衛生士の一人です。いままでに多くの歯科衛生士を指導、教育する経験をもちあわせており、本書にはその経験を活かした気配りが随所に盛り込まれ、読者を飽きさせず、段階的にスキルアップできるような構成となっています。

ぜひ本書を利用して自身の治療スキルを向上させ、患者さんの健康増進に貢献し、何よりも仕事にやりがいを感じていただければ幸いです。